

今後の操法大会・操法訓練について（結論）

日 時 令和3年10月5日（金）19時00分
会議名 団長会議

★今後の操法大会・操法訓練について（結論）

「操法大会・操法訓練について、アンケートを踏まえて各方面団で話し合った意見を報告してもらいました。」

- ・操法大会は無し、操法訓練は必要。
- ・負担が大きい。
- ・訓練内容を見直して、地区別を利用し多数の人が参加でき、より実践的な訓練がしたい。
- ・操法訓練は、動作、安全確保の面からも必要で継続すべき。
- ・操法大会については中止とするべき。競い合う意味があるのか。
- ・操法大会に代わる各方面団が立地条件にあった新しい操法を考えて発表する場を設けてはどうか。
- ・操法大会は必要がない。
- ・誰もが小型ポンプが取り扱える等、基本動作は誰もができるというような訓練が必要。
- ・操法大会は必要がない。山間部特有の訓練を実施していく。
- ・操法大会は必要がない。同じ団員が何回も大会に出場し人選に困っていた。
- ・操法訓練は必要性を感じている。
- ・各地区にあった訓練に取り組んでいったら良いと思う。
- ・令和6年度の三重県大会は松阪市からはどうするのか。
- ・操法があたる年に全体から聞いてみるのはどうか。
操法大会に代わるものも考えていかなければいけない。

結論として

- ・来年度の操法大会は実施しない。
- ・来年度は各方面団で地域性を考慮した訓練を実施していく。
- ・今年度中（2月頃までに）に訓練の案を提示する。
- ・来年、また操法大会については協議を行う。（令和6年度の三重県大会も踏まえ）

*10/12の団本部会議において団長会議での結論に対し異議はなかった。